企業・団体名（　　長野陸送株式会社　　）

（様式第３号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	・経営トップの積極関与のもと、性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別の禁止を就業規則に規定し、相談ホットラインを設置している。 ・これら差別のないことについても確認済み。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2			【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントの禁止を就業規則に規定し、相談ホットラインを設置している。 ・管理職を対象としたハラスメント研修を定期的に実施している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3			【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	・過度な長時間労働防止のため、労働時間管理表を作成し、運行管理者が日々チェックしている。 ・国土交通省創設の働きやすい職場制度「一つ星認証」を全事業所で取得している。 【予定】管理者を含めて時間外労働が一定時間を超える者については、本社で原因と防止策をチェックする。								8.5 8.8									
4			【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	・外国人労働者については、応募がないことから現時点で雇用なし。 【予定】今後、就業規則への規定を検討する。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5			【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	・毎年、運輸安全マネジメントに基づく安全衛生計画を策定し、これに沿った安全研修を月次で実施している。 ・事故事例の共有により、具体的安全対策を講じている。 ・定期的に安全に対する啓蒙活動を実施している(ビジネスチャット使用)。 ・定期健康診断また予防接種を推奨し、費用の一部負担のほか、奨励金を支給している。 ・4S(整理、整頓、清掃、清潔)運動を実施している。 ・ドライブレコーダーを全車に設置し、運転状況に応じた車両運行に関する安全教育を実施している。 ・国土交通省創設の働きやすい職場制度「一つ星認証」を全事業所で取得・維持している。			3					8								
6			【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	・ドライバーのメンタルヘルスを良好に維持するため、管理職は、ドライバーと積極的にコミュニケーションを図っている(精神面・体調面への気遣い・悩みを聞くなど)。 ・国土交通省創設の働きやすい職場制度「一つ星認証」を全事業所で取得・維持している。 【予定】今後、メンタルヘルス診断を導入するほか、管理者向けにメンタル研修も実施する。			3													
7			【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	・積極的に多様な人材の採用・管理職登用を進めるとともに、女性に対しては設備面等で社内環境を整備している。 ・上記取り組みにより、多様な人材の活躍を確認している(女性の直近採用2名、女性管理職の任命、女性・障がいの有無を問わないドライバーの在籍、女性管理職ドライバーの在籍)。 ・国土交通省創設の働きやすい職場制度「一つ星認証」を全事業所で取得している。 【予定】2030年までに女性の雇用率を15%に引き上げる。 【予定】65歳を過ぎても安全安心に働ける職種に付けるよう高齢者用の業務を開発する。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8			【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	・安全担当による定期的な安全教育のほか、新人教育も実施している。 ・安全教育はウェブを使用し、ビデオ研修・課題提出等活発に行なっている。 ・管理者教育は営業会議の際に定例的に開催している。 ・事故時の机上・添乗教育の実施。 ・運行管理者資格の取得を奨励し、取得者には奨励金を支給している。 【予定】外部講師による研修機会を増やす。				4	5.5			8	9								
9			【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	・公正な待遇を給与規程に定め、女性・障がい者のドライバーに対しても区別することなく対応している。 【予定】今後、能力や経験に見合った待遇を検討する。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10			【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	・健康診断は法定項目以外にも検査を実施し、業務形態によって年1回、年2回と分けている。 ・健康診断の結果を踏まえた本社フォローを実施している。 ・感染症予防促進のため、予防接種等には一部負担金や奨励金を支給している。 ・健康管理のため、事業所には血圧計、パルスオキシメーターを設置している。 ・事務所、休憩室等室内は禁煙にし、屋外でも喫煙場所を定めている。 【予定】今後も健康診断の検査項目を増やす。			3					8								
11	環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	・法令に基づく適正処理のため、廃油、廃タイヤ、一般廃棄物等は、社内で完全分別のうえ許可取得専門業者へ処理を依頼している。											11.6	12.4		14.1			
12			【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	【予定】電気使用量・水道使用量を把握し、車両については走行距離から温室効果ガス排出量を把握する。また、この結果は社内で共有していく。							7.3						13				
13			【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	・燃費の向上については全社で取り組んでいる。 ・老朽化した車両については、新車への入れ替えを順次進めている。 【予定】今後、排出・抑制状況を把握し社内で共有する。 【予定】車両の燃費向上を目指し、エコドライブとアイドリング抑制を更に進める。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14			【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	現在、取扱いなし			3.9			6.3					11.6	12.4					
15			【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	・排ガス・振動・騒音・夜間照明低減のため、アイドリングストップ等に取り組んでいる。 【予定】今後、排ガス浄化装置設備等により、生態系への影響低減を進める。						6.6									15		
16			【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	・電子稟議制度を導入し、紙の削減・書類の保管コスト削減等、効率化と無駄の削減に努めている。 ・裏紙を使用することで紙のリデュースを促進している。 ・廃油・廃木材・古紙等は、業者に依頼してリサイクルを行っている。 ・社内に限らず、社員は各家庭で古紙等の分別リサイクルを進めている。												12.5		14.1			
17			【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	・総務経理で利用状況を管理し、各人が節水に努めている。 ・一部の営業所では、地下水を利用して洗車している。						6.4 6.6											

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18			【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	―			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19			【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	【予定】長野県SDGs推進企業登録により、取り組みを開示する予定。												12.6					
20			【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】今後、太陽光発電の活用を検討する。							7.2						13				
21			【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	―												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	･就業規則に禁止を規定している。 ･コンプライアンスに関する通知を社内に掲示し、周知している。																16 16.5	
23			【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	･就業規則に禁止を規定している。 【予定】今後、コンプライアンス規程を定め、明記する。																16	
24			【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	【予定】今後、コンプライアンス規程を定め、知的財産の保護を明記する。 【予定】著作権･肖像権等を侵害しないよう研修等で周知する。								8.2 8.3	9								
25			【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	･情報保護について就業規則に規定している。 ･メモリースティックでのデータ保管を禁止し、全て会社管理のクラウドでデータ保管している。																16	
26			【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	･当社では取扱なし																16	
27			【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】今後調査し、必要に応じ取り組む。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	･毎年、運輸安全マネジメントに基づく安全衛生計画を策定し、これに沿った安全研修を毎月実施している。 ･事故事例を共有して、具体的な安全対策を講じている。 ･事故発生時の対応の仕組みを構築している。 ･荷物事故を防止する教育を行っている。 ･公益社団法人全日本トラック協会による安全性優良事業所「安全認証Gマーク」を全事業所で取得している。			3.9									12.4					
29			【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	･毎年、運輸安全マネジメントに基づく安全衛生計画を策定し、これに沿った安全研修を毎月実施している。 ･事故事例を共有して、具体的な安全対策を講じている。 ･荷物事故の削減のための教育のほか、写真による記録･チェックリスト作成等の仕組みを構築している。 ･サービス低下にならないよう、毎日の点呼時に情報共有している。 ･公益社団法人全日本トラック協会による安全性優良事業所「安全認証Gマーク」を全事業所で取得している。									9									
30			【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】今後、環境に配慮した設備を検討する。						6						12	13	14	15		
31			【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	･冷凍冷蔵倉庫を活用したサービス開発に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	社会貢献・地域貢献		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	･事業所近隣住民の生活に配慮し、夜間洗車の時間短縮･アイドリングストップを実施している。 ･走行速度を抑えた運転など、安全運転の教育を実施している。 【予定】地域との共同事業を検討していく。				4					9		11	12		14	15		17
33			【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	･会社だけでなく、社員個々人も日本赤十字へ寄付やボランティア等の社会貢献活動へ取り組んでいる。 【予定】社員のボランティア活動への取り組みを促進するための仕組みを検討する。				4							11			14	15		17
34			【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	【予定】地域との共同事業を検討していく。								8	9		11	12	13				
35	組織体制		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	･運輸安全マネジメントに明記し、社内掲示及びホームページで発表している。また、経営目標は管理職で共有している。 ･企業理念をホームページに掲載し、公表している。								8	9								17
36			【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	･法令遵守は関連する社内規程に定めている。 ･コンプライアンスに関する通知を社内掲示している。 ･ホットラインによる法令違反監視体制を構築済み。 ･入社時研修のほか、月次会議や研修等で指導している。 ･Webによる研修を実施している。 ･国土交通省創設の働きやすい職場制度「一つ星認証」を全事業所で取得している。																16	
37			【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	･担当役員が責任を持って対応している。 【予定】必要に応じ取締役会及び営業会議で状況確認し、体制整備を進める。																16	
38			【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	･取引先との対話を充実させ課題解決策を提案している。 ･株主に対する事業説明をしっかり行なっている。																16	17
39			【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	･運輸安全マネジメントに基づく安全衛生計画を策定している。 【予定】今後、さらに整備を進める。																16	
40			【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	･安全教育を強化し事故の削減に取り組んでいる。 ･事故時の対応を真摯に行なっている。 ･法に乗っ取って安全確実に輸送している。 ･周りの交通状況を注視し、思いやりのある優しい運転を心掛けている。 ･公益社団法人全日本トラック協会による安全性優良事業所「安全認証Gマーク」を全事業所で取得している。																16	
41			【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	【予定】今後、計画策定を検討する。									9		11		13 13.1			16	
42			【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	･外部人材の採用により、事業継続可能な体制を構築している。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
「私のSDGｓ活動」への取り組み（全社員が個々にSDGｓ活動目標を設定し、これに取り組む）	全社員の平均取り組み点数4.0点 （取り組み結果の点数化により、全社の取り組みレベルを見える化する）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）